


おおふなと 社協だより

 ふれあいネットワーク



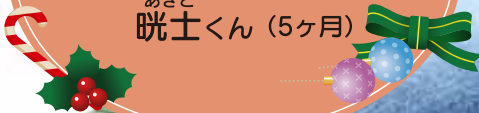
2017年 12月号

【特集】ご相談ください、生活の困りごと…2~3
ともに力を合わせて課題解決を……………4
あやさといきいき友の会……………4
育児の困った！お手伝いします……………5
いつか大船渡に貢献したい……………5
お知らせ……………6~7
輝き人……………8



今月の表紙

きんの しんのすけ
金野 慎之介さん・レティホアさん
あきと
暁士くん (5ヶ月)





生活困窮者自立相談支援事業・
就労準備支援事業

ご相談下さい、 生活の困りごと。

相談窓口「ここからセンター」

平成27年4月から生活困窮者自立支援法が施行され、大船渡市社会福祉協議会の相談窓口「ここからセンター」（以下、センター）には、「安定した仕事につけない」「心身が不調でやる気がでない」「生活が苦しい」などの課題を複合的に抱えている世帯からの相談が寄せられています。

昨年度の相談支援件数は、2185件（うち、新規相談件数は112件）、461人の方々の生活の困りごと（図表1）について支援を行ってきました。

センターでは、住民の多様な相談を一元的に受け止め、本人の意欲や状態により添いながら必要な支援をコーディネートする「自立相談支援事業」と、本人の状況に応じた就労支援を行う「就労準備支援事業」を実施しています。

自立相談支援事業で何ができるか

「相談支援員」が経済的な課題だけでなく、相談者が抱える様々な困りごとを聞き取り、本人の意向を尊重しながら支援計画を作成しています。支援の展開にあたっては、他機関との連携が必要不可欠で、貸付や就職支援を行いながら本人の目標達成を応援します。

時間はかかりますが、これまで相談者の約2割が再就職を果たしており、プランに基づく支援効果が見られてきています。

実際の支援例

震災により関東から帰郷。体調不良で就職活動が思うようにいかず、家賃の滞納が続いていたSさん。センターの相談により、住居確保給付金をはじめとする公的給付の支給や、生活福祉資金貸付事業を利用して生活費の不安を軽減。さらに、相談支援員がハローワークと連携して就労支援を行い、再就職が決まりました。



就労準備支援事業でステップアップ

相談者のなかには、仕事に就けない、就職しても継続性を保てない等の課題を抱えた方々も少なくありません。その理由としては、人とのコミュニケーションや何気

ない会話をすることが苦手、生活リズムが乱れ、朝起きられないなど仕事能力以外のものも多くなっています。

そのため、支援内容として「家から出る」「約束の時間に行く」といったことからスタートすることもあります。本人の状況に応じたプログラムを作成し、「できそうなこと」から、一つずつ始め、就労に対する自信を身につけながらステップアップ（図表2）を図っていくことが必要とされます。



就労体験で自分の適職を探します。



【図表1】

生活の困りごと
相談内訳

収入・生活費	74
仕事	45
病気・障がい	28
家族・人間	21
債務	21
住まい	18
税金	14
子育て	10
家賃・ローン	10
その他	9
介護	9
食料	9
引きこもり	4
DV・虐待	3
地域	2

具体的な支援プログラムの例

- ・ 定期的なスポーツプログラム（卓球、スポーツ吹き矢）やパソコンセミナーへの参加。
- ・ 駅や公園などの清掃活動や施設周辺の草刈り等ボランティア活動への参加。
- ・ 公共施設や一般企業での職場見学、就労体験。

就労準備支援事業対象者の例

- ・ 就職しても注意や指導されると腹がたち、すぐ仕事を辞めてしまう。
- ・ 高校時代に不登校となり、精神的な不調を抱えた生活が続き、家に引きこもっている。

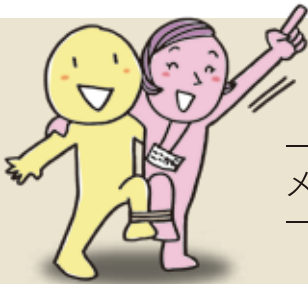


これらの事業を効果的にすすめるためには、体験や実習の場を一つでも多く確保することが必要であり、多くの企業や事業所の皆さまの協力が不可欠です。

受入協力のための就労の場という、社会貢献のように受け取られがちですが、就労支援の取り組みが浸透している地域では、企業や事業所側においても人手不足や早期離職と言った問題の解消を図ることにつながる機会になると言われています。

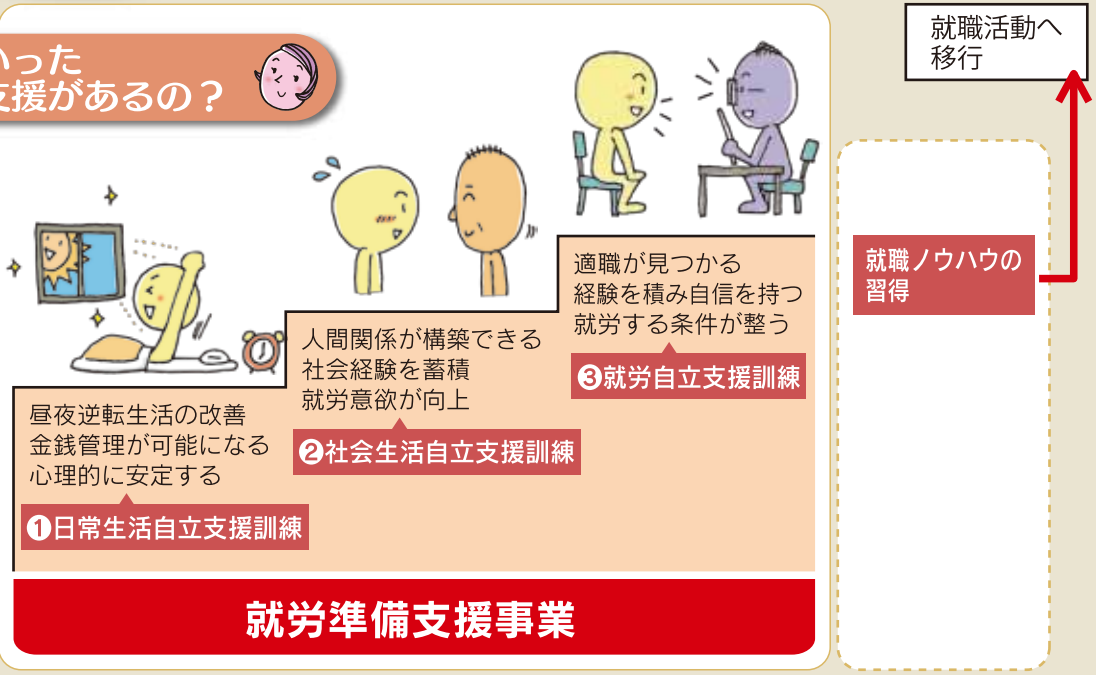
事業趣旨をご理解いただき、ご協力いただける企業、施設等があれば、ご連絡をお願いします。

【図表2】



一人ひとりの状況に応じた支援プログラムを様々なメニューの中からオーダーメイドで作成し、それを一緒に確認し、スタートしていきます。

どういった支援があるの？



ともに力を合わせて課題解決を



地域の課題解決のヒントを探る参加者のみなさん。

「協働」をキーワードに地域の福祉の課題解決の方策等について考える「2017地域福祉ワークショップ」が11月2日から4回に渡り開催されました。これは、大船渡市地域福祉計画および障害者福祉計画の策定作業の一環として行われたもので、民生委員・児童委員をはじめ、各種生活相談担当者、地域サロン参加者などが参加しました。参加者それぞれの立場や視点

から地域内の課題や不安に感じていることを抽出し、その解決方法について、「自分で解決できること」、「地域住民の協力により解決できること」、「公的な組織などが解決すべきこと」に分けて意見を出し合いました。参加者からは、「行政だけでなく、われわれ住民も勉強することが必要だと感じた」との感想が寄せられました。来年度は、大船渡市地域福祉活動計画を策定する予定です。これは今年度策定される大船渡市地域福祉計画との関連性が高く、より具体的で、住民の皆さんにとって身近な計画となります。どのような方法で策定するかは現時点では未定ですが、市民の皆さんからの声が不可欠です。皆さまのご協力をお願いします。

あやさといきいき友の会



トーナメント戦で行われたカーリング。好プレーに会場が盛り上がりました。

今年で結成4年目を迎える「あやさといきいき友の会」は、三陸町綾里の8地域で、定期的にサロン活動や研修会等を開催しています。10月27日のサロンは、岩手県共同募金会「被災地住民支えあい活動助成金」を活用し、「被災者等とのつどい」として、カーリングとお茶のみ会が行われました。カーリングは、カーリングを改良したニュース

ポーツで、室内で気軽に運動できることから、会の活動に今年から取り入れられ、会員からも好評のようです。あやさといきいき友の会では、ひとり暮らし高齢者の訪問活動も行っています。事務局の佐藤次夫さんから世話役の皆さんが対象者宅を訪問し、世間話をしながら体調や生活状況、サロンへの要望等を確認していました。会員の西風タミ子さん(83)は「認知症予防のために参加するようにしている。歌う事が好きだが、病気で歌えないので、サロンに来て皆の歌を聞くのが楽しい」とのこと。同じく会員の鈴木ツマさん(89)は「私も含めて災害公営住宅に1人で住んでいる人が多く、訪問活動があると安心。行事も毎回楽しみです」と話してくれました。

ファミリーサポートセンター事業 育児の困った！お手伝いします



大船渡市社会福祉協議会では、子育て中のお父さん、お母さんが急な用事で子どもに付き添えなくなったり、一時的にお預かりする「ファミリーサポートセンター」事業を実施しています。大船渡市では、平成21年から事業が始まり、これまで969件の利用がありました。リピーターが多く、実際に利用してきて、安心して預けられると感じているようです。



あずかり会員さんに安心して預けられます。

利用(有料)にあたっては、会員登録が必要で、子どもを預ける「おねがい会員」、子どもを預かる「あずかり会員」、どちらも兼ねる「どっちも会員」の3種類があります。託児の場所は自宅だけでなく、あずかり会員の家や、つどいの広場などにすることもできます。

今回、初めて利用した後藤さんは、「すごく助かりました。あずかり会員さんが以前、つどいの広場でスタッフをしていたり、子育て支援のサポートをしている人で、子どもにも慣れていたので安心して預けられました。利用料が1時間500円かかるので、長時間は利用できませんが、急な用事が入った時は、1時間でも預けられるので助かります」と話してくれました。

センターでは、常時会員を募集しています。特に、子どもが大好きで、少しでも子育ての力になりたいと思っているあずかり会員の登録をお待ちしています。

福祉人材育成事業

いつか大船渡に貢献したい



社会福祉協議会では、将来福祉の仕事に就きたいと考えている学生の実習の受け入れを行っています。この実習は国家資格である社会福祉士の受験要件になっており、福祉人材の育成につながる重要な役割を担っています。今年度は8月30日から9月15日、11月6日から11月17日の日程で岩手県立大学社会福祉学部3年の尾形豊さん(末崎町出身)と今野実紗季さん(立根町出身)の2人が実習に臨みました。前半は講義や現場を体験、後半



実習生として頑張った今野実紗季さん(左)と尾形豊さん(右)

はまとめとして「今、大船渡市に必要な取組」をテーマとした事業の企画に取り組みました。尾形さんは子どもの夢や達成感を育む事業、今野さんは急な用事で子どもを預けることができる事業を企画し、思い思いの言葉で発表してくれました。短期間ではありましたが、2人とも確かな成長と飛躍を感じられる実習となりました。

○実習生の感想

市民の皆さんが抱えている思いを知ることができました。また、その思いに因應するためには、知識とともに現場経験が必要となることを改めて感じました。その経験を糧に一層頑張っていきたいと思います(尾形さん)。

現場でたくさんの方の市民の皆さんと関わりながら、今学んでいる福祉に直接触れることができ嬉しかったです。ここでの学びを生かして、大学でさらに勉強し、大船渡市の福祉に貢献できるようになりたいと思います(今野さん)。

アロマハンドメイド講座

癒しだけでなく治療の効果も期待できるメディカルアロマセラピーのオイルで赤ちゃんにも安心な除菌スプレーを作ります。

日時 平成30年1月25日(木) 午前10時～正午

会場 大船渡市Y・Sセンター

講師 平野智美さん(メディカルアロマ健康管理士)

参加費 1,050円(材料代)



* 岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと相談

キャリア支援員が福祉の職場に就職したい方などの相談に応じます。相談を希望する場合は、事前に連絡をお願いします。

介護のしごと相談(1月)

開催日	会場	時間
11日(木)	ハローワーク	午前10時～正午
15日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時
22日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時
25日(木)	ハローワーク	午前10時～正午
29日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時

申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター・坂本さん

電話 080-8201-0200

* 共同募金情報

11月に、次の方から募金・義援金を預かりました。ありがとうございます。なお、「平成28年熊本地震義援金」、「台風21号三重県災害義援金」、「和歌山県平成29年台風第21号災害義援金」の受付は、延長となりました。

災害たすけあい義援金

(台風21号三重県災害義援金)

匿名1件

(和歌山県平成29年台風第21号災害義援金)

匿名1件

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。



申込・問い合わせ先 大船渡市社会福祉協議会
電話 0192(27)0001(代表)

* 支えあいまちづくり事業情報

陽だまりサロン

誰でも参加できるサロンです。ご近所お誘いあわせの上、お近くのサロンへお越しください。

時間 午前10時～正午(猪川地区公民館でのサロンは午後1時まで)

内容 血圧測定、軽体操、ゲーム、手芸、お茶っこなど

陽だまりサロン日程(1月)

開催日	会場
5日(金)	吉浜拠点センター
9日(火)	碁石コミュニティセンター
10日(水)	鷹生公民館
10日(水)	崎浜公民館
19日(金)	下中井公民館
23日(火)	猪川地区公民館
24日(水)	崎浜公民館
26日(金)	綾姫ホール



* 子育て関連情報

おでかけひろば



子育て親子の交流の場です。リアスホールでの「おでかけひろば」は、慢性疾患、発達障害等で自宅療養中のお子さんと家族が対象です。

時間 午前10時～正午(大船渡地区公民館での「おでかけひろば」は、午後1時30分～3時30分)

おでかけひろば日程(1月)

開催日	会場
9日(火)	大船渡地区公民館
17日(水)	リアスホール
24日(水)	カリタス大船渡 地ノ森いこいの家

*大船渡市Y・Sセンター情報

年末年始休館のお知らせ

12月28日(木)～1月4日(木)までは、
年末年始につき、全館休館となります。



*就労準備支援事業情報

フリースペース開催

就労準備支援事業では定期的に体を動かす機会としてフリースペースを設けています。興味のある方は事務局までお申込みください。

日時 平成30年1月11日(木)、18日(木)、25日(木)

午後1時30分～3時30分

会場 大船渡市Y・Sセンター

内容 1月11日(木) スポーツ吹き矢

1月18日(木) スポーツ吹き矢

1月25日(木) 卓球

持ち物 上靴

*生きがい健康づくり事業

水泳教室受講生募集

平成29年度第3期の水泳教室を次のとおり開講します。受講希望者は、受付期間内に大船渡市Y・Sセンターへ申込んでください。

水泳教室名	曜日	時間	定員	回数	期間	内容
ラクラク教室	火	午前10時～11時	40名	8回	1月16日～3月6日	水中運動
イキイキ教室	水	午前10時～11時	40名	8回	1月17日～3月7日	水中運動
スイスイ水泳教室	木	午前10時～11時	40名	8回	1月18日～3月8日	水泳指導
リラックス水泳教室	木	午後6時30分～7時30分	40名	8回	1月18日～3月8日	水泳指導
チャレンジ水泳教室	金	午前10時～11時	40名	8回	1月19日～3月9日	水泳指導
児童水泳教室	土	午前9時30分～10時30分	40名	8回	1月20日～3月10日	水泳指導
		午前10時30分～11時30分	25名			

受付期間 12月25日(月)～27日(水)

*初日は、児童水泳教室を優先して受け付けます。

受付時間 午前9時30分～午後4時30分(予約を含め電話でのお申し込みは出来ません)

受講料 1教室1,000円(プール利用料別途)



今月の表紙

金野 慎之介 さん
レティホア さん
暁 土くん
(5ヶ月)
(立根町在住)

つどいの広場に遊びに来てくれた、金野さん一家。

「元気に大きくなってね。」
お父さん、お母さんより



- 1月号課題「雑詠」
- 締め切り
1月5日(金) **必着**。
1人1句。
(自信作をひとつ)はがき使用。
- 投句先
立根町字下欠125-12
「Y・Sセンター」内
大船渡市
社会福祉協議会
「ふくし川柳」係
- その他
作品によっては、添削する場合があります。投句者の氏名にはフリガナをつけてください。

(評)人生の最期をどう迎えるか。誰もが思い描く重要なテーマ。本人が分からなくても、見送った家族が「人生をほろ酔いながら終わらせたね」と語り合えたら、本人へのいい供養になると思うのだが…。

人生を ほろ酔いながら 終わりたい
越・平田 栄夫

《佳作》

酔うほどになぜか憎めぬ恵比寿顔
ほろ酔いになると出てくる懐古談
酔うほどに舌が転がる重い口
深夜便眠気も友に曲に酔う

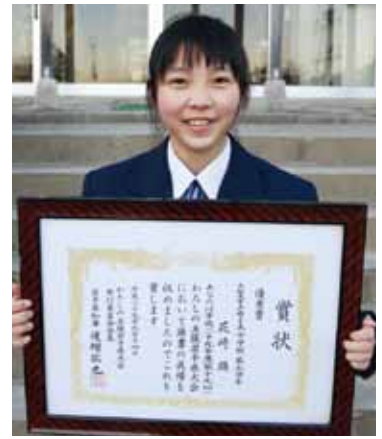
赤・佐々木敦子
立・武田 みつ
末・滝田 澄子
吉・千葉 元子

「ふくし川柳」 課題「酔う」 富谷英雄 選

輝き人

はな さき おどり
花 崎 踊さん (15歳)

大船渡市立越喜来中学校3年。わたしの主張実行委員会主催の「わたしの主張」で「気仙地区大会最優秀賞」「岩手県大会」で上位2番目にあたる「優秀賞」を受賞。



生きている私だからできること

今年、越喜来中学校の代表として「わたしの主張」に出場しました。

私が発表の題材として選んだのは「劇団アトム」のことです。劇団アトムは東日本を中心に公演して回っており、小学校六年生の時にワークショップに参加したのをきっかけとして所属することになりました。演技の技術を学べることも大きかったですが、「震災を風化させない、震災で傷ついている人を勇気づけたい」という思いで設立され、公演を精力的に行っていることを知ったのが、この劇団に入ろうと決めた最大の理由です。劇団で練習をすることはとても楽しく、ここで培った表現力を様々な機会に生かしていきたくてと常々思っていました。そして、劇団アトムが震災に対して強い思い入れを持っていること、その中で私も頑張っていることを紹介したいと思いました。

それでは、私が大会で披露した弁論の一節を紹介します。

「この劇団の代名詞とも言える演目は「まな子と瞳」。被災地各地で公演が行われてきましたが、昨年は私たちが出演することになりました。私の役は『クロス』。人物ではありません。震災直後の雰囲気や犠牲者の気持ちが重なり合った負のオーラです。

なんて難しいことを求められているのだろうと思いました。その役に入り込むため、亡くなった方々の気持ちを考えるうちに、考えること自体が犠牲者を冒瀆しているように思え、何も考えずに演じて良いのではないかと思ってしまうことがありました。

しかし、練習の中で一枚の写真を見ました。それは、津波で跡形もなくなった大船渡の町並みでした。その写真を見た時、あの日、失ったものを思い出し、

この劇団で学ぼうと初めて考えた日のことを思い出しました。

震災を風化させない。絶対に語り継ぐ。でも、どうすれば亡くなった人の気持ちが分かるのか。考えに考え、一つの答えを出しました。

亡くなった方の気持ちは分からない。だけど、生き残った自分の気持ちとなら向き合える。あの日の絶望。悲しみ。怒り。震災を忘れないと決めた。

これからは生かすと決めた。生きていることを喜ぶことに決めた。

生きている自分だからできる演技をすることにしました。

この答えで本当にいいのか、不安がなかったわけではないの、不安がなかったわけではありません。しかし、観客の一人のおばあさんが、涙を流して「よかつたよ」と私の手を握ってくれた時に、悩み抜いた日々は間違いではないと思いました。」

大会後、学校や気仙地区の文化祭でも発表しました。緊張しましたが、聞いてくださった方々からたくさんお誉めの言葉をいただき、うれしく思いました。